

| | | | |
|-------|-------------------|--------|-------------------|
| 事業名 | 雇用推進事業費 | | |
| 細事業名 | 「やまなし・しごと・プラザ」事業費 | 財務コード | 664504 |
| 担当部課室 | 産業労働 部 | 労政雇用 課 | 地域雇用 担当 (内線) 4808 |

I 事業の概要

| | |
|--------------|--|
| 実施期間 | 始期 H17 年度 ~ 終期 年度 |
| 実施主体 | 県(直営)(委託) |
| 事業の目的 | <p>だれ(何)を対象に 若年者、中高年齢者及び子育て中の求職者</p> <p>その対象をどのような状態にして やまなし・しごと・プラザや合同就職面接会等を利用することにより、県内企業への就職を促進している。</p> <p>結果、何に結びつけるのか ・県内企業の労働力確保</p> |
| 事業の内容主にH30年度 | <p>○甲府市飯田のJA会館にある「やまなし・しごと・プラザ」、および、富士吉田市富士山駅ビルにある「やまなし・しごと・プラザサテライト」において、ハローワークと連携し、若年層から中高年齢者、子育て中の求職者に対して、国の職業相談、職業紹介等と一体となった就職支援サービスをワンストップで実施。</p> <p>①やまなし・しごと・プラザ「ジョブカフェ・求職者総合支援センター・子育て就労支援センター」 ・開庁時間 月曜日～金曜日/9:30～18:00、土曜日/13:00～17:00(職業相談・職業紹介等を除く) ・閉庁日 日曜日、祝日、12月29日～1月3日</p> <p>②やまなし・しごと・プラザサテライト「ジョブカフェ・子育て就労支援センター」 ・開庁時間 月曜日～金曜日/10:00～18:30、土曜日/13:00～17:00(職業相談・職業紹介等を除く) ・閉庁日 日曜日、祝日、12月29日～1月3日</p> <p>○「ユースバンクやまなし(メールマガジン)」 ・高校3年生や県内外の大学生等に登録してもらい、県内企業や就職面接会等の情報提供を実施</p> <p>○中高年齢者就職支援事業 ・県内において、合同就職面接会を開催し、一般求職者等に県内企業から直接説明を聞く機会を提供するとともに、各種情報提供や就職相談を実施。(H30.7.5-ベルクラシック甲府開催)</p> |
| 根拠法令等 | 雇用対策法(昭和41年法律第132号)、雇用対策協定、一体的な実施に関する協定書 |

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

| 事業の実施状況と目標の実現度 | 29年度 | 30年度 | | 31(R1)年度 | R2年度 | 事業目標の考え方 | |
|-----------------------------|------------------|---------|----------|----------|----------|---|---|
| | 実績値 | 目標値 | 実績値 | 見込値 | 目標値 | | |
| 活動指標 | 開庁日数 | 293日 | 292日 | 292日 | 292日 | 292日 | 活動指標 目標設定の考え方 前年度実績を参考とした。 |
| | セミナー等の開催 | 60回 | 60回 | 62回 | 58回 | 58回 | |
| | ジョブカフェランチ | 40回 | 40回 | 41回 | 40回 | 40回 | |
| | 就職面接会開催 | 2回 | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 | |
| | 活動指標達成率(実績値/目標値) | | | % | | | |
| 成果指標 | 利用者数 | 36,296人 | 36,000人 | 32,997人 | 33,000人 | 33,000人 | 成果指標 目標設定の考え方 雇用対策協定、前年度実績を参考とした。 |
| | 相談者数 | 4,236人 | 3,900人 | 3,754人 | 3,780人 | 3,780人 | |
| | 就職者数 | 1,983人 | 1,950人 | 1,830人 | 1,950人 | 1,950人 | |
| | ランチ参加者 | 108人 | 110人 | 140人 | 140人 | 140人 | |
| | 成果指標達成率(実績値/目標値) | | | % | | | |
| 決算額又は予算額(千円) | 30,872 | | 29,805 | 33,281 | 32,381 | 成果指標によらない成果 | |
| (千円)うち一財額 | 30,872 | | 29,805 | 33,281 | 32,381 | 「ユースバンクやまなし」や就職面接会等を活用した情報発信を行うことにより、県内企業情報の周知に貢献している。 ハローワークの開庁する17時以降や土曜日にも利用できることから、在職したまま転職を考える求職者等の就労支援につながる。 | |
| 所要時間(直接分) | 1,282 時間 | | 1,282 時間 | 1,282 時間 | 1,282 時間 | | |
| 所要時間(間接分) | | | | | | | |
| 所要時間計 | 1,282 時間 | | 1,282 時間 | 1,282 時間 | 1,282 時間 | | |
| 人件費コスト 単位:千円 (@2,114円×所要時間) | 2,710 | | 2,710 | 2,710 | 2,710 | | |

III これまでの事業の見直し・改善状況

- ・H17.4「ジョブカフェやまなし」を開設後、雇用情勢に応じて、山梨労働局と連携した就労支援の一体的施設の開設・運営を行ってきた。
- ・キャリアコンサルタントは、人員の削減(H28:▲3人、H30:▲1名)に努めた結果、現在は各施設1名ずつの配置となっている。
- ・H28にユースバンクやまなしへの学生の登録を促すための登録用リーフレットを作成し、県内の高校3年生や県内外の大学等に配布

IV 活動量と成果の判断(平成30年度の業績評価)

| (1)事業は予定された活動量を上げているか(「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断) | | |
|---|------------|---|
| 数値判定 | 活動量に係る一次評価 | 活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること |
| H30年度活動指標の達成率 | | すべて予定どおりの活動量となっている。 |
| | b | |

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

| (2)事業は意図した成果を上げているか(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断) | | |
|---|-----------|--|
| 数値判定 | 成果に係る一次評価 | 成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記載すること |
| H30年度成果指標の達成率 | | <ul style="list-style-type: none"> ・H30年度利用者数・相談者数・就職者数は次のとおり(カッコ内は成果指標に対する達成率) 利用者数:32,997名(91.7%)、相談者数:3,754名(96.3%)、就職者数:1,830名(93.8%) ・H30年度末「ユースバンクやまなし」登録者数は次のとおり 登録者数:2,817人(前年度末2,642人6.6%増) |
| | b | |

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

V 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

| 一次評価(担当部局評価結果) | | |
|----------------|---|-----------|
| 見直しの必要性 | 説明 | IV以外の判断項目 |
| 有 | <ul style="list-style-type: none"> ・「やまなし・しごと・プラザ」の利用者数等は年々減少傾向にあることから、県内の人手不足解消に向けて、施設の利用向上と就職者数の増加を図る必要がある。 ・「ユースバンクやまなし」の新規登録者数は、大学等への進学予定者の1割弱であることから、周知方法を検討し、新規登録者数の増加に努め、さらに施設の利用者増につなげる必要がある。 | m |

・「IV以外の判断項目」の欄

a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

| 二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価 | | |
|--|----|-----------|
| 見直しの必要性 | 説明 | IV以外の判断項目 |
| | | |

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

VI 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

| 見直しの方向 | 具体的な実施計画等 ※「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること |
|---------------------------|--|
| 予算要求時に記入 予算編成後に修正等 | |

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止(施設については「譲渡」)」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
・見直しが無い場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること

自主点検シート(事業の内容及び所要時間)に関する附属資料

様式2

所属名: 労政雇用課

細事業名: やまなし・しごと・プラザ事業費

調書番号: 6

| 事業の内容を 細分化した 業務名 | 具体的な業務 プロセス(手順) | 業務の 時期 (フロー) | H30 所要 時間 (h) | H31 (R1) 所要 時間 (h)A | R2 所要 時間 (h)B | 縮減等 B-A | 具体的業務の 見直しの内容 | 見直しに至った理由等 (又は見直しなしの理由等) |
|-------------------------|--------------------|--------------------|------------------------|---------------------------------|------------------------|------------|------------------|-----------------------------|
| 1 運営業務(庶務) | 委託関係業務 | 通年 | 388 | 388 | 388 | 0 | なし | 適正かつ効率的に処理されている |
| | その他管理業務 | 通年 | 346 | 346 | 346 | 0 | なし | 適正かつ効率的に処理されている |
| | | | | | | 0 | | |
| | | | | | | 0 | | |
| | | | | | | 0 | | |
| (小計) | | | 734 | 734 | 734 | 0 | | |
| 2 運営業務(周知) | セミナー等のHP掲載 | 通年 | 36 | 36 | 36 | 0 | なし | 適正かつ効率的に処理されている |
| | セミナー等チラシ発送 | 通年 | 36 | 36 | 36 | 0 | なし | 適正かつ効率的に処理されている |
| | ユースバンク関連 | 通年 | 332 | 332 | 332 | 0 | なし | 適正かつ効率的に処理されている |
| | | | | | | 0 | | |
| (小計) | | | 404 | 404 | 404 | 0 | | |
| 3 仕事探し応援! 合同就職面接会 | 実施要領及び業務内容の決定 | 3月 | 10 | 10 | 10 | 0 | なし | 適正かつ効率的に処理されている |
| | 企業募集及び大学等の周知 | 4~6月 | 60 | 60 | 60 | 0 | なし | 適正かつ効率的に処理されている |
| | 運営準備、打ち合わせ | 5~6月 | 40 | 40 | 40 | 0 | なし | 適正かつ効率的に処理されている |
| | 当日運営 | 7月 | 8 | 8 | 8 | 0 | なし | 適正かつ効率的に処理されている |
| | アンケート集計、採用状況調査 | 8~10月 | 26 | 26 | 26 | 0 | なし | 適正かつ効率的に処理されている |
| (小計) | | | 144 | 144 | 144 | 0 | | |
| 所要時間 (計) | | | 1,282 | 1,282 | 1,282 | 0 | | |

(留意事項)

- 1 事業を細分化した業務名は、事務事業を構成する業務ごとに細分化し、その業務名を記載すること。
- 2 具体的な業務プロセス(手順)は、できる限り多くのプロセスを記載すること。
- 3 業務の時期は、業務のフローがわかるように具体的な業務プロセスごとに記載すること。(毎月、四半期ごとの業務等は、その1サイクルの期間を記載すること。)
- 4 各年度の所要時間(計)は、事務事業自主点検シートの「Ⅱ 事業の目標、実施状況等」の「所要時間計」と一致すること。
- 5 具体的業務の見直しの内容は、わかりやすく簡潔に記載すること。(県民から見て分かりやすい表現とすること。)なお、見直しがない場合は、「なし」と記載すること。
- 6 見直しに至った理由または見直しなしの理由は、詳細に記載すること。(具体的な業務プロセスごと、または細分化した業務ごとに記載すること。)
- 7 適宜、業務内容に合わせて、行を加除して記載すること。(複数ページ可)